

特別進学

8組 小野詩子先生

- ①英語
- ②E.S.S(英語研究部)
- ③ピラティス
- ④一緒に楽しんで、頑張りますよ!

9組 村上修三先生

- ①数学
- ②応援指導部
- ③ウォーキング
- ④友達をたくさんつくろう!

11組 古園井淳先生

- ①数学
- ②バドミントン部
- ③スマブラ
- ④やりたいことを一生懸命やる3年間に

12組 大長ひとみ先生

- ①英語
- ②華道部
- ③自己研鑽
- ④友だち100人つくってね

13組 田中真先生

- ①理科(生物)
- ②生物部
- ③ギターを弾くこと
- ④楽しく過ごしましょう

14組 北島義浩先生

- ①国語
- ②かるた競技部
- ③何でも興味を持ってやること
- ④新しい学びの舞台に感謝して過ごす

10組 常法建先生

- ①国語 ②新聞部
- ③人の「やりたいこと」を支援する
- ④頼らないので、自分たちで頑張ってください

スーパー進学

中高一貫

大濠では食堂「すずらん」やパン購買「リボリ」が生徒に食事を提供している。食堂「すずらん」の店長の久保田安博さんに、人気のあるメニューを聞くと、「最近340円のメニューが生徒に人気だ」と話した。食堂は券売機やレジで食券を購入して利用するが、券を購入できた場合でも、引き換えの前に売り切れる場合がある。その場合は同類の品と引き換えるか、レジで払い戻しをすることが出来る。食堂には340円のメニューが多く、売り切れの場合でも

すずらんの品と交換できるため人気が高いという。340円のメニューにはBセット、カツカレーや日替わり丼などがある。食堂では午後4時から5時30分まで午後営業も行っており、唐揚げとポテトを販売している。また、昼休みのコモンホールでは「リボリ」がパンを販売している。パンは20種類以上が取り揃えられており、生徒の様々な嗜好に配慮している。余裕ができれば新たにメニューを増やしていくことも考えているという。パンの原材料には安全に配慮したものを使用しており、卵は被災地応援も兼ねて熊本県上益城郡で採れたものを使用している。店長の萩尾泰三さんは「入学してしばらくはコモンホールに入りたくないと思う。何かあればスタッフが丁寧に応じるので、遠慮なく来てもらいたい。また、多くの生徒が来るので、時間短縮のために小銭を用意してほしい」と話した。

すずらんリボリ 大濠生の胃袋を支える



大濠カツカレー 「大濠」は「大盛」の意味だ

Welcome to OHORI! 高校1年生 担任紹介

	男子	女子	計(人)
新入生	292	98	390
一貫生	98	65	163
計(人)	390	163	553

大濠、どう?

4月8日に第69回入学式が厳粛に行われ、553名の新入生が入学した。そこで、今回は新入生の担任になる先生方からのメッセージと、学校生活を送る上で役立つトピックをまとめた。

3月15日、高校の合格者召集が行われた。そこで、新開部は新入生と在校生にインタビューを行った。新入生に大濠のイメージを聞く、「校舎が綺麗」「学力があり、進路実績も良い学校だ」と思うなどといった声がかれた。

また、在校生に新入生へのアドバイスを聞くと、学習面では「中学の時よりも学習内容は量、質共に増える」「毎日コツコツ勉強すべき」「メリハリをつけ、効率よく勉強を進めてほしい」など、生活面では「高校では朝補習があるので、毎日しっかりと睡眠を取ったほうがいい」という声が多くあがった。

進学

質問内容
①担当科目は何ですか?
②担当している部活動は何ですか?
③趣味は何ですか?
④新入生に一言
メッセージをお願いします。

1組 森園健一先生

- ①理科(物理)
- ②なし(学年主任)
- ③博愛館、美術部選り
- ④君たちが思い描く夢よりも、持っている可能性の方が遥かに大きい

2組 中島康裕先生

- ①家庭
- ②軟式野球部
- ③ゴルフ
- ④勉強に、スポーツに、時間を有効に使ってほしい

5組 八木啓伸先生

- ①公民(倫理・政経)
- ②硬式野球部
- ③子どもと遊ぶこと
- ④明るく、楽しく、楽しんで!

3組 安井達郎先生

- ①理科(物理)
- ②物理部
- ③アコースティックギター
- ④自分の人生を切り開いて

6組 福龍太郎先生

- ①保健体育
- ②柔道部
- ③風呂に入ること
- ④礼節を大切に

4組 常安幸俊先生

- ①数学
- ②囲碁・将棋部
- ③音楽鑑賞
- ④目標を定めて3年間をしっかりと過ごそう

7組 大塚雅之先生

- ①数学
- ②模型部
- ③旅行・グルメ・バドミントン
- ④勉強・部活動等で高校生活を充実させよう

昨日も、今日も、明日も、おいしさを提供して大濠生とともに

2019.人気ベスト3

- 1位...ラーメン
- 2位...丼物
- 3位...定食

校内食堂 すずらん

リボリ Rivoli

福岡市中央区鳥飼2丁目1-1 大濠公園前交差点角

Since 1956

コモンホールでのパンの袋のゴミは専用のゴミ箱へ

医療法人 脳神経外科

クリニック高木

脳ドック
機能訓練室あり、MRI撮影対応

理事長 **高木 忠博** (43年卒)

福岡市早良区弥生1丁目4番8号
☎092-844-1211

医療法人

畠山内科胃腸科クリニック

〒810-0024 福岡市中央区桜坂1-3-31
(地下鉄七隈線「桜坂駅」より徒歩1分)

TEL&FAX 092-761-7453

院長 **畠山 定宗**

街の魅力を
大津の校舎に

大津の校舎 紹介します

3月の高等部新入生招集の際、新聞部が大津高校の第一印象について新入生に聞いたところ、ほとんどの生徒が「校舎が綺麗だ」と答えた。本校の校舎はその美しさで知られ「F.A.D福岡建築50選」の1つに選出されている。今回は、普段意識することが少ない校舎の魅力を紹介する。
(上遠野、菅野、須賀、松本)

街と一体化した 開放的な校舎

現在大津生が利用している校舎棟と体育館棟は、9年前に福岡大学創立75周年記念事業の一環として新設されたものだ。今回は、校舎新設のため先生たちによって組織された建築委員会において、副委員長を務めていた菅野正純先生に新校舎の魅力を聞いた。

菅野先生によると、新しく校舎を建設するにあたって重視された点が大きく2つあったそうだ。1つは学校として独立した外観にするのではなく「街に溶け込む校舎にする」という点である。NHKビルやアクロス福岡の設計を担当した企業が設計しており、周辺環境と



春の暖かな日差しが射し込む

の見た目の調和を意図した校舎となっている。

もう1つは「自然を大切に、生徒がのびのびと過ごせる校舎にする」という点である。特に意識されたのが開放感だ。例えば、4階にある生徒ホールは7階まで吹き抜けになっており、天井から日の光が多く差し込む造りになっている（右写真）。また、自然の恵みをよ

新入生も、2・3年生にも知ってもらいたい 大津の魅力

大津には、現在合計8万冊以上の本を収蔵している図書館や、部活動などの座談を始め勉強にも使える3モンホールなど、いくつもの施設が存在する。

その中でも特に魅力的なものが視聴覚室とスカイテラスだ。どちらも校舎棟6階にあり、大津のシンボルとして開放的な空間を演出している。視聴覚室は講演会や映像授業などに使用さ

れる。北面の大窓から望む大津公園は大迫力だ。また、スカイテラスからは大津の街並みを眺めることができ、友人との会話や昼食が楽しめる。



視聴覚室からは大津公園を一望できる



明るく開放的なスカイテラス

観測をお助け



毎日の風を測る

校舎棟屋上には日々の気象観測を行う風向風速計が設置されている。これはもともと福岡管区気象台の屋上に設置されていた。しかし、新校舎建設に伴う観測への影響を考慮した福岡大学が気象台と相談し、新校舎の屋上へ機器を移設することになった。

この風向風速計は通学路からも見ることができ、日々の観測に貢献しているこの機器を一度探してみたい。



株式会社福岡大学サービス Fukuoka University Service

大津高校生を
バックアップ
する!

●大津中・高等学校購買部
文具・学校指定品・教科書・その他
※学校生活の必需品をお得に取り揃えております。
TEL 092-406-4026

●保険相談コーナー(福岡大学バスターミナル内)
学生総合保険・自転車保険・その他各種保険
※専任スタッフが丁寧にアドバイスいたします。
TEL 092-862-0019

「模型道」

模型部は部室棟3階にある部室で活動している。普段はプラモデルやジオラマを個人個人で持ち込んで作成している。昨年行われた全国鉄道模型コンテストではベストクオリティ賞(13位)を受賞した。

部長の波多江 雅也さん(3年)に部の魅力について聞くと「九州で『模型部』の名前で活動しているのは大濠高校だけだ。中学生から入部することができるので、部員の半分以上は中学生から続いている。また、自分だけでは作成することができないような、大規模な模型やジオラマを部員で協力して作ることも可能だ。ちなみに前年度の文化祭では、コンクリートブロックを40個使用した鉄道ジオラマを部



細かい作業もお手の物

最後に、これからの活動について聞くと「この部活で自分が5年をかけて培ってきた経験や技術を後輩達にできるだけ伝えていきたい。そのためにも後輩達と週10時間を大切にしたい」と話した。

員全員で作った」と話した。また、部活に入った理由について聞くと「私は、何か物を作成したいと思って入部した。模型部と聞くと模型しか作らないように思われることもあるが、実際には模型だけではなく、それに付随するジオラマも作成しており、とても楽しい」と話した。

普段活動をするにあたって気を付けていることを聞くと「換気にはいつも気を付けている。特に塗装を行う際は有機溶剤などに有毒な物質が含まれているので、皆で呼びかけをして、窓を開けて換気を徹底するようにしている。また、ただ模範と物を作るのではなく、期日を明確にし、それに間に合うよう全員で日々切磋琢磨している」と話した。

常任図書委員会 伝えよ、本の魅力

常任図書委員会は、普段職員図書室や教室を借りて活動している。不定期で毎月2回ほど集まっている。文化祭の時期は活動日が増え、忙しくなるそうだが、委

今回の大濠生特集では、模型部と常任図書委員会に對して取材を行った。彼らは、普段からどのような活動を行っているのだろうか。(向野、宮永、森、上達野)

大濠生特集 第13回 模型部 & 常任図書委員会

員は現在14人で、3年生10人、2年生4人で活動している。主な活動として、図書館だより

の作成や図書館の書架整理などを行っている。図書館運営の他にもビブリアバトルとい

り、各々が気に入った本の魅力を紹介する活動を行っている。

委員からビブリアバトルが上手いと評される平田 駿さん(3年)はビブリアバトルのコツについて「発表の仕方は人それぞれだが、私は紹介する本が好きだという気持ちで前面に出すことを大切にしている。また、その場の雰囲気に応じて発表することを重視している。各々が自分に合った方法を見つけていることが大事だろう」と話した。他にも発表するときには、客層に合わせて本を愛えるなどの工夫をしているという。例えば文化祭では、子どもも大人も理解しやすい本を題材にしているそうだが、

委員長の本山 通加さん(8年)は常任図書委員会について「最初は本が好きで委員となったが、いざ入ってみると話した。他に、発表するときには、客層に合わせて本を愛えるなどの工夫をしているという。例えば文化祭では、子どもも大人も理解しやすい本を題材にしているそうだが、



「空想科学説本」が紹介されたビブリアバトル

ると活動日ではない日でも自然に集まって楽しく活動できた。自分が持っていた本について語るというイメージよりもアクティブな委員会だ。委員長になってからは、委員の意見を尊重している。学年に関係なく支え合っている精神を大切に活動している」と話した。これからの目標について「図書館の利便性を向上させたい。調査前などは図書室はテスト勉強をするためだけに利用されているケースが多い。勉強するだけでなく、生徒が本を読みたいと思える環境を整備したい」と話した。最後に本山さんは新入生に向けて「新入生でも読書を楽しめるような環境を委員会一同整備したい。図書室では色々なジャンルの本を置いている。本が苦手な人でも楽しめるだろう」とメッセージを送った。

お知らせ あなたも新聞に載れる!

次号以降も投票箱に応募が来た個人、団体に対して取材を行う予定です。本記事への掲載を希望する方々の応募をお待ちしています。

大濠中・高の学生服・ポタンダウン・シャツはお任せください!

女子の制服もOK

お問い合わせは 092-291-1178

福岡市博多区上呉服町12-230

山下商店

代表取締役 山下拓生 (833卒) 取締役 山下徹生 (H3卒)

企業ユニフォーム製造・販売 (作業服・事務服・白衣)



帰ってきた猛獣たち (左からウンピョウ、ライオン、アムールトラ)

熊本市動物植物園には現在、ウンピョウ2頭、ユキヒョウ1頭、ライオン2頭、アムールトラ1頭がいる。このうちの5頭は3年前まで同動物園で飼育されていた。しかし、震災が原因で猛獣舎の檻に問題が発生し、福岡市動物園などの動物園への一時的な避難を余儀なくされた。3年が経

熊本市動物植物園 帰ってきた猛獣たち

過し、同動物園が猛獣を飼育できる状態にまで復旧したため、昨年10月に帰還した。昨年12月に全面オープンを迎えた同動物園は今、多くの人々が来場し賑わいを見せている。来場者に取材したところこの動物園にはよ



全面オープンを迎え、来場者が相次いでいる

く遊びにきていたので、ここまで復興が進んでいることに少し感動している。孫たちを連れ猛獣を見に来た。ライオンの迫力ある姿をもう一度見ることができて嬉しい」といった喜びの声を聞くことができた。

震災から3年 前進続ける 熊本の今

これまで私たちは、2016年4月に発生した熊本地震の被害とその後の状況を読者へ発信してきた。その震災から3年が経過した今、変わり続ける熊本には、復興を目指して奮闘する人々がいる。今回は、未来に向けて活気づく「熊本の今」を特集した。

楽しさが キーワード



うさ耳を付け取材に応じたリズさん(左)と渡邊さん

熊本の復活を目指したイベント「イースターパーティー2019」くまもと復活祭が4月21日に益城町のグランメッセ熊本にて開催される。「熊本の未来を明るくしたい」という思いから

熊本の復活を目指したイベント「イースターパーティー2019」くまもと復活祭が4月21日に益城町のグランメッセ熊本にて開催される。「熊本の未来を明るくしたい」という思いから

イースターパーティー2019 明るく、楽しく、「復活」へ

このイベントは「復活」から連想される「イースター」をテーマとしており、卵やうさぎといったイースター関連のデザインが使われている。会場構想についてリズさんは「若者や子ども連れに楽しんでもらえるような、明るく楽しいイメージ作りを心掛けています」と話した。この

このイベントを通して、来場者に何を伝えたいのか。渡邊さんは「私たちは熊本に対して何が出来るだろうか」ということを考えてみてほしい」と語る。例えば渡邊さんは、熊本復活のために地域で経済を回していくことが必要だと考えている。多くの地元企業に協賛を要請したのは、地域で一体となるきっかけを作るためでもあるそうだ。



イースターパーティー実行委員会は各種SNSでイベントや出店の情報を発信している(QRコード参照)。お洒落な商品や活動理念の他、うさ耳をつけて会議している独特な光景もそこに掲載されている。

イベント当日、会場には数々の出店とイベントスペースがあり、来場者はグッズ購入やステージパフォーマンスなどの企画を楽しめる。また、3年間の復活状況が写真で分かる「ピフォーアフターパネル展」も設置される。入場受付ではうさ耳を模したカチューシャ(500円)が販売されており、1つにつき100円が益城町復活の資金に充てられる。「最初はうさ耳に抵抗があるかもしれないが、次第に慣れてくる。ぜひうさ耳をつけて参加してほしい」と2人は話した。

最新技術で 熊本城 比較する3年

(被害の様子を映す)

震災によって多大な被害を受けた熊本城。被災状況を視覚的に表す技術として、プロジェクトシミュレーションがある。これは、熊本城のホワイト立体模型に音と映像を投影することで、櫓の倒壊や石垣崩落の様子を体感できる技術である。桜の

馬場城彩苑にある「熊本城ミュージアムわくわく座」ではこの技術を使って熊本城の被害、復旧状況を再現し説明している。そこに勤めている吉川実里さんに話を聞いた。「熊本城の完全復旧には600億円以上の資金が必要だ。現在は個人や団体からの募金、援助によって資金を得ている。例えば、熊本城の復旧を支援できる「復興城主」という制度を通して、20億円程の寄金が集まっている」と話した。熊本城復旧の直近の目標は、今年10月5日から開始される熊本

益城町テクノ仮設団地内 岡本商店 復興シンボルはプリン

熊本最大の仮設団地である益城町テクノ仮設団地を訪れた。この場所で仮店舗を構え営業しているのが岡本商店である。明治時代の創業で、酒やタバコなど様々な商品を販売

うさ耳つけて 参加しよう!

うさ耳の生えた卵が目印

うさ耳を付けて

KIMURA

木村カバン店

カバンならお任せを！
気楽にご来店ください！

福岡市中央区天神 2-9-114 tel 092-741-2429

冷凍食品製造・開発

ハちゃん堂

6回卒 川邊義隆

みやま市本社工場 ベトナム ホーチミン工場

OB 特集<第 35 回>

万葉の文化に心惹かれて



奈良大学教授
上野 誠 先輩

PROFILE

1979年に本校を卒業し、國學院大学文学部に入学。現在は奈良大学教授を務める。『筑紫万葉 志ひごころ』などの著書があり、万葉集研究の大家として知られている。

大津高校に在学中の思い出を教えてください。

高校時代、私は「日本国憲法部」という部活動に所属していました。この部活は、顧問の提示した憲法に関する題目について部員同士で語り合うという一風変わったものでした。何故この部活動に入ったのかは自分でもよく覚えていませんが、この活動を通じて歴史について考える際の土台が作られたと思います。

万葉集の研究者になった理由は何ですか。

私の母親が俳人だったことや、史跡の発掘現場に家族で見学に行ったことが挙げられます。私が万葉集を勉強しようと思いついたのは高校3年の、自分の進路を考え始めた頃でした。日本古来の歌に込められた心情や意味を考えて、それを解き明かす事が面白いと感じたためです。大学入学後から研究を始め、かれこれ30年以上万葉集一筋で研究しています。自分は契神や本居宣長といった偉人には遠く及ばないかもしれませんが、発見された史料などから通説を打ち崩す新しい理論を発見するときに喜びを感じます。

高3で

国文学を志す

今回のOB特集では奈良大学文学部で教授を務める上野誠先輩を特集する。上野先輩は万葉集について40年近く研究を行っており、学界の権威として名を馳せている。また、先日本校で特別授業を行うなど大津高校への思い入れも強い。先輩の学生時代の思い出や、大津生へのメッセージについて話を聞いた。

(松崎、新牛込)

「考える力」を身に付けるために

大津生に向けてメッセージをお願いします。

中高での学習は基礎的な内容が多いです。そのため、

ときには丸暗記することもあり、現在の勉強を不満に思う人もいます。しかし、大学に進学すれば今あなたが学んでいる最中の知識を踏まえてその先の未知の世界を開拓することになります。だから、まずは大津での勉強を疎かにしないことが大切です。

その上で、大学での発展的な学習に備えるためには、筋道立てて物事を考える力が大事だと思います。私は本を読むことで自身身を鍛えさせ、この力を身に付けたと思っています。勉強と読書を両立させて、意義ある学校生活を送ってください。

上野先輩は、昨年度の2月13日に本校で万葉集と福岡の関わりについての特別授業を行った。授業を終えて先輩は「非常に良い雰囲気だった。生徒は皆顔を上げて私の目を見ており、講義に集中していることがわかった。だからこそこちらもより質の高い講義をするように意識できた。実際に大学で自分が講義するときも

特別授業

各々の「気づき」を活かす

「生徒それぞれの考えや気づき」を活かした上で高次な内容を展開するように心掛けています。今回の特別授業も、生徒の意見を十分に尊重したのになったと思う」と語った。



生徒に積極的に意見を問う

30年たったら一眨眼どう！福岡大学附属大津高等学校同窓会

福大大津ホームカミング同窓会 2019

「懐かしい顔との再会 そして新たな出会い」

- ・日時 2019年5月12日(日) 15時～
- ・会場 大津高校校内食堂 (当日は学校見学会も予定)

*第66回大津同窓会参加費はこちらから→



同窓会には地域・圏域支部があります

- 福岡、東海、関西、福屋、筑紫、久賀米つづじ会、福岡市校所連友会、福岡大学医学部

◎懇話会や母校クラブの応援等を行っています。

会長 百田篤 (10回卒)

事務局 福岡市中央区六本松1-12-1

TEL 092-714-1681

HP <http://www.chsa.jp>

発掘！職
[No.14]

『レンタルなんもしない人』

森本祥司さん (@morimotoshoji)

「レンタルなんもしない人」という活動を展開している人がいる。飲み食いも簡単な受け答え以外の行動を行わない、文字通り「なんもしない」人が行事の都合合わせや話し相手などとして様々な土地に赴いているという。この仕事に至った経緯や現在の活動状況、これからの動向について話を聞くことができた。

(松崎 新平 込)

「流されて生きる」

森本さんがこの活動を始めたのは昨年の8月3日のことだった。「20代のころ就職したものの、まもなく仕事をやめてしまった。自分から何かやらうとすると、いつも焦って失敗してしまってい

た」と語る森本さんは、「何かをやり遂げようとしてもなかなか気がおかない」ということに悩まされていた。そんなある日、偶然見つけたネット番組で「プロ蒼レーサー」という、着られることを生業としている人が出演しているのを見た。そして、自分にとって何もせず人に流されて生きることは性に合っているのではないかと



「帽子はトレードマークだ」と森本さん

思い、この活動を始めたそうだ。

森本さんは「当初は、その活動内容自体は面白がられたが、本気で受け止めてくれる人は少なかった。それでも今では多くの人に認知され、メディアから取材をされる機会もできた（我々の取材中にもNHKが密着して撮影を行っていた）。しかし、得体の知れない存在として怖がっているような人もいるので、完全に受け入れられるのはまだまだまだとはなにかみながら話した。

とことん受け身になって

「この活動におけるやりがいについては森本さんは「ツイッター」にも書いてある通り、私は活動において交通費を除いた報酬を頂かない。今は、自分の貯金を切り崩しつつ普段の生活と活動を両立している。その点で言えば厳密にはこれは仕事ではないだろう。強いて言うならば、各々の依頼を終えた後私はその内容をツイッターで短く紹介するという、文

筆家のような行為を行っている。依頼者の状況を周囲に発信することになるので、結果的に彼らから喜ばれることもある」と話した。

また、これからの活動について話を聞くと「今後の展開は深く考えていない。今月、自分の今までの活動をまとめた本『レンタルなんもしない人』のなんもしなかった話」が出る予定だが、その本においても私はほぼ「なんもしない」状態だ。私は、これからとことん人の意志に流されたい。社会が多くの人間によって成り立っているように、自分も社会に対して受け身になり、周りの人に動かされ、堂々となんもしないでいたい。なんもしなくても様々な人の話が聞けている今が、自らの夢の叶っている最中だ。この今が長く続けばいいと思う」と話した。

実際に依頼 依頼者の話で知見を深める



取材後のツイートで新聞部が紹介された

「なんもしない人」は普段どのような依頼を受けているのか。森本さんに聞くと、「常にツイッターで依頼を募集しているが、本当に幅広い分野の相談がある。中でも最近多いのは「自分の話を聞いてほしい」というものだ。それまで自分と関わりがなかった世界の話をフラットに聞いて面白く、知見が深まる」と話した。

実は記事担当者である私もこの日、森本さんに自分の悩みを相談した。「もうすぐ高8になるのに中々勉強のスイッチが入らない」といった内容だ。話をしている間、森本さんは自分の目を見ながら黙って聞いていた。話を終えたところで何かアドバイスをくれるわけではなかったが、思いを吐露したことで胸のすいた気がした。

近畿日本ツーリスト
株式会社近畿日本ツーリスト九州

思い出の旅をお手伝いします

福岡教育旅行支店

福岡市博多区綱場町 2-21 福岡MDビルディング 8F
TEL:092-281-4891・FAX:092-281-4899



祝 200号 大濠新聞



大濠新聞は今号で200号という節目を迎える。そこで私たちは、新聞部の成り立ちや歴史、新聞の価値について再確認しようと思ひ、3月16日に行われた部の同窓会「相聞会」にて、歴代の先輩方に取材した。また、「全国高等学校新聞コンクール」を主催していた大東文化大学に取材をした。(大倉、坂井、新牛込、西村、松崎)

創部者に聞く

新聞部の誕生秘話

本校新聞部は63年前、3人の生徒によって創設された。今回はそのうちの2人である、白木治さん(4回卒)と中西文良さん(4回卒)に話を聞くことができた。また2人の後輩で、2代目の部長である大津俊彦さん(6回卒)にも取材した。

部を務めており、本校初の文化祭を開きたいという願望があった。そのため、いくつかの部活を創設し文化

部の強化を行っていた。その中で他の2人と意気投合し新聞を発行し始めた」と創部の経緯を説明した。

創刊号を発行した後、中西さんが中心となり後輩集めに勤しんだ。大津さんはその時に勧誘された1人で「多いときには20人程部員がいた。部員同士は仲が良く、新聞発行後に野球をしたり、夏休みにキャンプを行ったりもした」と話した。



初代部長の中西さん(左)と2代目部長の大津さん



歴代の新聞部員が並ぶ

元顧問 相良先生に聞く

廃部の危機を乗り越えて

今回、OBであり元新聞顧問でもある相良浩文先生(17回卒)への取材で、新聞部は廃部の危機にあったことが分かった。



自身が書いた記事を指す

相良先生は顧問を一度務めた後、異動などにより部を離れていた。再び顧問に就任した際、新聞発行回数は年1回にまで激減し、以前の活気は失われつつあった。廃部の危機を感じた相良先生は部の再興に乗り出した。年4、5回の発行を目標とし、記事作成に必要なノウハウを教え込んだ。部員へ熱心に語りかけるうち

に、ついてきてくれる生徒も増えてきたという。また、共に積極的な指導を行ってくれたのが、印刷会社の方だ。当時から印刷を依頼している「ハマ印刷」には今もお世話になっている。

その他にも様々な話を聞いた

- Q. なぜ新聞部に入ったのですか
- A. ・友人に誘われたから
- ・他校訪問で女子校に行きたかったから
- ・運命だった
- Q. どのような活動を行いましたか
- A. ・地域も巻き込んだ取材活動
- ・運動部の取材のため全国を巡った
- Q. 何を学びましたか
- A. ・物事を公正中立に考えること
- ・文章力が身に付いた



眞子弘之助さん(61回卒)



片山将史さん(61回卒)

Q. 東北で震災の取材をしましたよね。なぜ行こうと思ったのですか

A. ・東北は遠かったが、震災を知るには「行かないと始まらない」と思った。

・大濠 SPIRITS という団体から援助をもらい、震災を読者に伝えるため現地に赴いた。

Q. 新聞の魅力は何ですか

A. ・コラムなどの寄稿文

・情報が1冊にまとまっていて便利

・きちんとした会社が発行していて信用がある

Q. 当時の新聞部はどのような様子でしたか

A. ・男子校だったので、体育会系のように上下関係が厳しかった

・立て替え前の校舎の4階に部室があったので、見晴らしが良かった(コラム「展望台」の由来)

Q. 昔の大濠新聞はどうでしたか

A. ・西日本新聞会館に赴いて印刷してもらっていた

・様々な学校と合同新聞を作ったこともある



小山謙一さん(19回卒)



山下真弘さん(8回卒)

相聞会には約50名のOB・OGが参加した。私たちはこの機会に、先代たちの部活や新聞に対する思いを知るべく取材を行った。

先輩たちに聞く大濠新聞

最後に、学校新聞の意義について、中西さんは「生徒は、自分が関わっていない学校の動きについては知る機会が少ない。学校新聞はそのような生徒に情報を伝え、生徒を下から支えるためにある」と語った。

校説 新聞第二号に当って

本校もはや、五年に及び学校としての地盤も一応固まったと言えよう。第三期卒業生より、バトンを渡された方には、我々後輩は本校が発展する様に努めねばならない。昨年をふり返るに、いろいろな、行事、あるいは教多の大会等、催されたが特に体育部の活躍は、目覚しかった。中にバスケットは、九州バスケット大会で優勝して国体へ進出、又関西バスケット大会に於ても優勝をなし得たことが出来た。故に大塚高の名が天下に啓蒙することが出来た。

野球、柔道においても世間から大塚の栄道は強いといわれる様になった。これらの目覚ましい功績は、過ぎし友、先輩の努力が実を結んだものである。故に我々在校生は大塚高の名を一度のみならず二度、いや永久に伝統として残して行きたいものである。伝統を作る事によつて、先輩に申し分も立つのである。我々後輩はやがては卒業するが、社会の一員となり、就職した場合に母校の名を上げる事はうれしうであろう。その喜びを味うためにも努力したいものである。三十一年度の私立高校の入試志願者は県下で本校が第一位である。受験者が多いのは本校の名が世間に認められて来たからであろう。創立五年にして目覚ましい発展をしていると言えるのではなからうか。文化部も今年は例年と違がつて活躍する様に思われる。それは読務を初め生徒が先生方にたよらず、自ずから積極的に行き分が起っているからである。本校は男子のみの学園であるので、文化部方面の活躍が薄れつゝあった事は当然であるが、しかしこれからは他校に劣らず、発展する事は約束されるであろう。終りに、生徒諸君の奮起を促すと共に、学生の自分を自覚し、健全なる精神の基に学んで行くようではないか。

創刊号の校説(須藤説)。生徒の自立性を問う

石上博

全国高校新聞コンクール終了

これからの新聞像

大塚文化大学は昨年度の第48回をもって、国内の新聞コンクールの中で最長の歴史をもつ全国高等学校新聞コンクールに区切りを付けた。

学長の門脇廣文さんは「時代の流れの中で、新聞の役割は常に変化してきた。インターネットの登場によって新聞は二次的なメディアとして捉えられるようになるなど、新聞は今変革期を迎えている。私は紙の新聞の魅力はニュースをただ伝えるだけでなく、問題をより正當かつ深く伝えられることだと考えている。ニュースを伝える速さでは紙の新聞は

インターネットに敵わないが、これからは内容の深さが紙の新聞の武器となるだろう」と述べた。

コンクールの運営を担当していた入試広報課の河崎隆道さんは新聞コンクールを終了することについて「今日、報道媒体が多様化する中、紙新聞は勢いを失っている。コンクールでも、昔は1000校以上参加していたが、今回も参加校数は112校に留まっている。参加



新聞の未来を語った門脇さん

校の減少が一旦、熊本の地震からの復興を終えていると思われている人は少なからう。かく言う私もその一人だった。しかし、今回偶然にも熊本へ取材に行く機会があり、自らの無知を思い知った。熊本には、震災の影響で未だに苦しい生活を強いられている人々が大勢いたのである。そして、多くのボランティア参加者が以前の風景を取り戻すために活動を続けていた。私はその日、彼らの行動力や復興へ懸ける熱意に「すごい」とただただ圧倒された。

熊本の人々を本當の意味で救済することはできるはずがない。大切なのは、復興を継続させることだといえる。多くの人々がそれに気づき、被災地のために行動を起すことができれば、復興はより継続可能なものになる。そして、人々へのパトンの存在を発信し、つなぐ役割を担うのもそれが新聞なのだ。

復興をただ「すごい」という単純な感想だけで終わらせていた私は、熊本のために自ら行動を起そうと考えたことはなかった。しかし、今回ボランティアに携わる人々の熱い思いが取材の中で、復興のために自身が成し遂げたい目標を見つけた。私は、熊本に「すごい」だけでは終わらせない新聞を書きたい。これからは支援の継続のために、熊本の現状を伝え続けよう。(田原)

部説 復興のパトンは 我々の手に

「復興は一時の流行りであってはいけない」。これは私がボランティアの人々へ取材した中で、特に印象に残った言葉だ。確かに、被災地にとつてボランティアや募金などの支援が、震災直後にしか得られない「流行り」であったなら、現在地震の被害に苦しむ

新学期を気持ち良くスタート！

ひと味違う文房具

私たちの普段使っている文房具は学校生活には必要不可欠だ。新学期になって、新たに文房具を買い揃えた人もいるだろう。そんなとき、もっと便利な文具があったらと思ったりことはないか。そこで我々は、コクヨ株式会社の藤松里美さんと梶原広輝さん、福大サービスの島木由子さん、アイデアスイッチの野村もえみさんに取材し、利便性や意外性に富んだ文房具の世界を聞いた。(菅野 富永、森、今村、八谷)

貼りがやすい とじりがやすい

コクヨ社員お2人から紹介された文房具は「GLOO」シリーズののり2種類とキャンパス2穴ルーブリーフパイNDERだ。まず、のりの特徴について「ステイックのりは粘接着部分を四角形にしたので、プリントの角などもしっかり塗れる。テープのりは、強接着、貼ってはがせる、貼り直しができるの3種類を販売している。また、本体の変形が可能で使用者の手にフィットした使い方ができるようにになっている(左上写真参照)」と語った。

次にパイNDERの利点につ

いて「従来のルーブリーフのパイNDERは穴が多くプリントの出し入れが不便だ。しかしこのパイNDERはどじる穴が2穴になっており(左写真参照)ペンチで穴を空けたプリントをストレスなくとじることが可能だ。また、パイNDERの表紙に折り目がついており、挟んでいるプリントがめくりやすくなっている。背幅は薄いことに加え、100枚のプリントを挟めるため、バックの中でかさばることの心配もなくなるだろう」と話した。

私たちの知らない間にど



ALPICO(株)K&Sインテグレーション



買員の島木さんに特におすすめの文房具をいくつかと「シャープペンのシルの『スマッシュ』だ。売店で人気の文房具の1つで、最小限の力で書くことができるため

アイデアスイッチ 自分だけの文房具、作れます。

東区にある文具店アイデアスイッチは「つくるとつかう」をコンセプトに「ストックペーパーノート」というサービスをやっている。紙箱や使い切らなかつたノート、気に入ったデザインのリファイルなどをモジュールに組み立てる。また、封筒を作る道具や自宅で印刷する人々個人向けの商品を販売している。

他にも「アイデアスイッチ工作室(外活動部)」という、少人数で集まって文房具やインテリア、アクセサリーを作る活動を展開している。



厳選された文房具

あなたと 私の身近にも

なかなか外出する時間が取れないという人は、西館1階の売店で文房具を探してみたいかがだろうか。購



力を使わず文字が書ける

長時間書き続けられる。また、グリップの握り心地が良いだけでなく、ノックの押し心地が非常に良いのも好まれる理由の一つだ。予習、復習やテスト期間の勉強などにぜひ活用してほしい」と話した。

このシャープペンシル以外にも売店には様々な文房具が売られている。休み時間や放課後などに訪れてみてはいかがだろうか。

精神科・内科
油山病院
ストレス・うつのお相談/リワーク(復職支援)

〒814-0171 福岡市早良区野井5丁目8番87号 TEL 092-871-2281(代)

院長 渡辺 隆 理事長 三野 順 院長 三野 順 院長 三野 順 (S58年卒)

幸徳会 **古原医院** 理事長 **古原 雅樹** (第17期卒)
更生医療指定医

内科 小児科

TEL info@kohara-clinic.com
TEL 092-431-5622

T812-0014 福岡市博多区比恵町1B-1

JR九州 新たな駅サービス

「スマートサポートステーション」とは

普段通学でJRを利用してはいる人は多いだろう。近年、JR九州では駅にカメラやインターホンを設置し、それらを通じて利用者の安全を見守り、案内を行う「スマートサポートステーション」の導入を行っている。今回は、JR九州広域部の本村友一さんと、田主丸駅管理組合の江口久雄さんに取材を行った。

「スマートサポートステーション」

近年、JR九州の一部の駅で導入されている「スマートサポートステーション」。

このサービスを導入している駅では、利用者に不明な点があつた際、サポートセンターの係員に尋ねられるインターホンを設置している。また、必要に応じて係員が遠隔で対応する精算機も設けられている。駅にはカメラも設置されており、始発から最終列車まで利用者が安心して駅を利用できる体制が整っている。また、導入駅はエリアなどのサポートセンターで一括管理されており、センターの係員が毎日各駅を巡回して清掃など、駅の管理にあたっている。このサービスは2015年から、福岡近郊の香椎線とい



係員が遠隔操作可能な精算機

う路線を皮切りに導入されている。このサービスの導入により、駅係員がいなくてもサービスレベルの維持が可能になったという。本村さんは「私は以前、駅員として勤めていた経験があるが、駅員も四六時中駅全体を見るのは困難だ。スマートサポートステーションではカメラによって専用のオペレーターが利用者の安全を見守る事が可能となる」と話した。なお、サービス導入の際は、警察と連携し、駅巡回の回数を増やしてもらうなどの対応も取っているという。

現在、このサービスは福岡県の香椎線、筑豊本線の一部の駅や大分県内の複数の駅で導入されている。今後も利用者の多い路線などで導入を検討していくそうだ。

開始から4年 状況は良好に推移

スマートサポートステーションが導入されて今年で4年が経った。利用状況の現状を本村さんに聞くと「サポートセンターへの問い合わせ



は料金の精算についてが多くを占め、問い合わせは多いエリアで1日あたり60件程度だ。大分地区はまだサービスの導入駅が少ないこともあって問い合わせも少ない」と話した。

なお、JR九州では通常、拠点駅で近くの無人駅をまとめて管理しており、拠点駅の駅係員が巡回して管理を行っているが、このサービスを導入している駅では監視カメラで常に駅の状況を確認できるようにするため、駅の治安状況も改善されているとのことだ。

JR九州には、駅員がいる有人駅が270駅ある。その中には、JR九州から沿線自治体などに駅の業務の一部委託している駅が約60駅存在する。

田主丸駅 自治体が協力して業務も



窓口で相談に応じる江口さん

福岡県久留米市にある、久大本線の田主丸駅も自治体への委託駅だ。この駅で業務を担当している江口さんは「私は基本的には駅のホームや待合室の清掃と、窓口でのきっぷの発券や回収を行っている。普段は3人が交代で業務にあたっている」と話した。江口さんは田主丸駅に来る前は久留米市のシルバー人材センターで働いていたとい

おかげ様で55周年



地下鉄六本松駅前

昭和54年卒 大島達男



博多きょう重
よぐ・あら・すっぴん

古賀大規模 1998年卒

百味薬院駅徒歩3分

福岡市中央区渡辺2-3-24

営業:17:00~22:30(日曜定休)

TEL:092-771-1818

多様な意見を楽しむ

「哲学カフェ」で話す・学ぶ

身近な問いに対して話し合う「哲学カフェ」が各地で開催されている。そこで哲学カフェの活動について、福岡哲学カフェ「エタフィロ」を運営する花井美穂さんに話を聞いた。また、最近哲学カフェを新たに始めた「ブクラボ」代表の大庭貴治さんに取材を行った。

(宮本、和田、新牛込、田原)

福岡哲学カフェ
エタフィロ
自由な自分表現

今回、我々は哲学カフェの実態について取材するため、実際に天神で行われた福岡哲学カフェ「エタフィロ」に参加した。「エタフィロ」にはSNSで誰でも簡単に申し込み、参加することができる。当日は、中学生からお年寄

りまで様々な年代の人々の参加が見受けられた。哲学と聞いて堅苦しいものを感じていた我々は、そのリラックスした雰囲気には驚いた。参加者は毎回変わる対話の主題に対し、自分の考えに基づいて、自由に対話を行う。参加者に安心して発言してもらうため、対話には3つのルールが決められている。1つ目は人の話を最後まで聞くこと、2つ目は意見や人格を評価しないこと、3つ目は決めつけて話さないことだ。また、「上手く話すことができません、言いよどんでしまった言葉も大切にしたい」と花井さんは語った。



議題に対して各々の見解を述べる

「言いよどんだ言葉の中にこそ生きた信念が宿るのだそうだ。」

花井さんは哲学カフェについて、「哲学カフェは、型にはまらない自由な考えを述べる」ことができると話す。哲学カフェなら、自分の考えが世間の常識と違っていると考えている人でもきつと受け入れてもらえるだろう。高校で自己表現が苦手だと考えている人も哲学カフェを通してなら、自分を表現し、愛していきやすいものではないか」と話した。

ブクラボは「博多で読書会」というコミュニティを前身としている。大庭さんは「コミュニティ内で哲学に関する議論をすることが多くなった。そこで、活動の幅を広げる意図もあってコミュニティ名を「ブクラボ」に変更し、哲学カフェなどの取り組みを始めたと話した。

ブクラボ 新たな考えを知る場所

ブクラボは「博多で読書会」というコミュニティを前身としている。大庭さんは「コミュニティ内で哲学に関する議論をすることが多くなった。そこで、活動の幅を広げる意図もあってコミュニティ名を「ブクラボ」に変更し、哲学カフェなどの取り組みを始めたと話した。



哲学カフェについて語る大庭さん

て考える。第1回では「君たちはどう生きるか」という本をもとに議論を行った。多くの人が興味をもつような主題を設定するよう心がけているそう。哲学カフェを聞く中で大庭さんが大切にしていることを聞くと「哲学カフェの魅力は質疑応答という一歩踏み込んだ内容を話し合う中で新たな考え方を学び、日常生活を豊かにするきっかけを得られることだ。そのため、正しさを求めるというよりは、各人の多様な考えを尊重している」と話した。高校生の参加者はまだ少ないというが、大庭さんは「哲学は難しそうな印象があるかもしれない。だが哲学カフェに参加すれば、様々な人と意見を交わすことで新たな考えが得られるだろう。SNSなどから参加申し込みをしてほしい」と話した。

耳よりい見

書評 吾輩堂

「書評 吾輩堂」は我が校の近く、六本松二丁目の路地に店を構えている。

元々は猫に関わる書籍や雑貨をネット販売でのみ取り扱っていたが、経営が軌道に乗ってきたことで、昨年12月に念願の店を開いた。店



個性豊かな猫達が迎える

主である大久保京さんは「昔から猫が好きだったので『猫好きや本好きが楽しめる店があればいいな』と思いい、この仕事を始めた。ネットから始めたことで実店舗を開いたときから既存の客が多く、全国から足を運んでくれている」と語った。

また吾輩堂では、大久保さんの美術師としての経験を活かし、九州の作家と協力した商品開発や展覧会開催などの活動も積極的に行っている。大久保さんは「高校生を始め、若い人たちにも気軽に訪れてほしい」とメッセージを送った。

(大倉、田原)

您好!朋友

ニイハオ ポンユウ

〒810-0044

福岡市中央区六本松2丁目7-7 河津ビル1F

TEL092-(731)8458

美術工芸品調製専門店

足立商会 有限会社

代表取締役 足立 隆 (19回卒)

福岡市博多区上呉服町13番32-1

〒812-0036 TEL-FAX(092)283-2855

2020年 東京五輪の影響で

インターハイ分散開催



IH開催の難しさを語る西塚さん

IHは現在、全国を12に分割したブロックごとに持ち回りで開催されており、2020年は北関東ブロックでの開催が予定されていた。しかし、数万人に上る江夏期大会の参加選手、さらに監督や役員などのべ約20万泊分もの宿が必要で、東京五輪の影響を考慮すると、北関東地域での宿の確保が困難と予想され、IH開催が

北関東での開催 宿の不足は必至

2020年の東京五輪開催に伴い、北関東で開催される予定だったIH夏季大会は、一部の競技の会場を全国に分散させることを余儀なくされた。全国高等学校体育連盟以下、高体連は分散開催に際し、イレギュラーな形で開催地となる地方自治体への補助金を確保するための募金を行っている。私たちは今回、問題の渦中にあつた高体連事務局長の西塚春義さんに取材を行った。

(松崎、新牛込)

危ぶまれた。西塚さんは2020年のIHについて「ブロックの交代による開催ができなかったため、北関東ブロックでできる限りの競技を行い、他競技を各地で分散開催することになった。しかし、例年経費の7割から8割程を開催地の自治体が負担するが、受け入れ先の自治体が予定された順番ではないため経費を賄えないことなどが問題となった。そのため、高体連は当該競技専門部と連携し徹底的な経費削減を行った」と語った。

公式マスコット「ウイニンくん」 グッズも収入源



IH公式マスコットキャラクターの「ウイニンくん」を知っているだろうか。ウイニンくんのキーホルダーやバッグなどの公式グッズは、毎年IH会場で販売されており、売り上げの一部は高体連の収入となる。他にも、ウイニンくんのLINEスタンプも存在する。これらの高体連公式グッズを購入することも、私たちにできるIHひいては高校生アスリートへの支援の一つだ。



全競技に、対応するウイニンくんの公式グッズがある

「2020インターハイ特別基金」 募金集まらず、決死の経費削減

高体連は、分散開催の経費の一部として使われる「2020インターハイ特別基金」制度を2016年に立ち上げた。「人々に認知してもらうために基金に関するチラシを配布したり高体連ホームページで宣伝を行ったが、募金の集まり具合は芳しくない」と西塚さんは話す。



募金フォームのQRコード

そこで、高体連は企業や中央競技団体へ基金の協力を要請した。西塚さんは「徹底的な経費削減の甲斐あつて全競技の開催地が内定し、開催不能の事態は避けられた。しかし、完全にIHを開催するには依然として資金が不足している。最低限必要な募金額はあと1億円程で、これは日本の運動部所属の生徒のべ120万人に百円ずつ募金してもらえば十分に用意できる金額に相当する。余裕をもって大会を開催するために、できるだけ多くの支援が必要である」と語った。

〒810-0044
福岡市中央区六本松 4-5-23
電話 092-406-8800
営業時間 8時-18時
定休日 月曜・第2、第4火曜日
HP <http://matsu-pan.com/>

福岡市中央区六本松4-5-23
092-406-8800
http://www.facebook.com/matsupan.jp

Hazama

PRINTING CO., LTD.

1-20-23 NANOKAWA MINAMIKU FUKUOKA-CITY 815-0081 JAPAN
<http://www.hazama-printing.com>

代表取締役会長 間 正彦 (第17期卒)

☎ 092.521.5138 ☎ 092.531.4153

剣道部

全国ベスト8 優勝校に惜敗

本校剣道部は3月26日から28日の3日間に行われ、愛知県春日井市総合体育館にて行われた全国高等学校剣道選抜大会においてベスト8という成績を収めた。

初戦は山口県の宇部フロ



代表戦で激戦を繰り広げた池田虎之介さん

ンテイア大学附属香川高校に對し、先鋒の小峰さん(2年)がメンを二本取り大塚に勢いをつけた。2回戦の長崎南山高校、3回戦の東奥義塾高校との戦いは、いずれも次鋒の濱地さん(3年)がメン二本で相手を下し、準々決勝進出を決めた。

準々決勝では熊本九州学院高校(今大会優勝)と対決した。2月の九州大会準決勝で敗れた雪辱を果たすべく臨んだが、九州学院の攻撃的な剣道の前に劣勢を強いられた。次鋒の濱地さんが一本取られ後がない

の後は落ち着いた相手が敵を見せず、そのまま試合時間4分が終了した。その後、代表戦で再び大将同士の対決となり、約20分におよぶ激戦の末メンを取られ、惜しくも敗退した。なお、池田虎之介さんは大会の優秀選手の一人に選ばれた。

この結果について顧問の森先生は「悔しさが足りない。大会の中で、自分たちの課題は攻撃力だと感じた。4月には新入部員を加えた新しい体制での活動が始まるが、変わらぬ頂点を目指していきたい」と語った。

また、剣道部は3月29日から30日にかけて秋田県で行われた船屋旗で準優勝という成績を残した。(田原)

バスケットボール部 全九州春季選手権2位

本校バスケットボール部は8月24日に行われた全九州春季選手権に出場した。順当に勝ち上がったが、決勝で福岡第一高校に敗北し、準優勝という結果となった。この結果について顧問の片峯先生は「気持ちの面で圧倒されていたため普段の練習の成果を出すことができないまま試合が終わってしまった。今回の試合で、個々の闘うためのメンタルが未熟であることが無難だと分かったので、心身共に鍛え直したい」と語った。



ゴールに迫る濱地さん

た試合時間で最初から最後までやり続けること、1人ひとりがチームに力を発揮できる行動をとることに引き継ぎ力を入れた。そして、インターハイ予選に向けて戦術を調整しようと思う。人間力・競技力・学力を高め、高校日本一を目標に日々精進したい」と語った。(今村)

弓道部 江口さん 西日本大会3位 悔しさを糧に



本校弓道部に所属する江口桜さん(2年)は西日本女子弓道大会に個人戦3位という成績を残した。

江口さんは今回の大会について「前日の練習で調子があまり良くなかったため、とても不安だった。大会本番では正しい射をするこだけを考えると、生懸命頑張った。2、3位決定戦まで勝ち上がる事ができたが、最後に負けてしまったことが悔しい」と話した。また、これからの目標について「これからの大会で先輩の役に立てるようになりたい。部員

有限会社 遠藤和洋紙店
昭和49年(第21回)卒 遠藤 浩 (取締役)
TEL 810-0021
福岡県福岡市中央区今泉1丁目13-11
カルティス天神南 505号

教材・教具販売
有限会社 福岡統正社
代表取締役 伏見史郎
福岡市博多区千代2丁目5番8号 TEL: 092-651-1587

応援指導部 西日本大会 5位 「基礎は完成した」

本校応援指導部は、3月9日、10日に行われた西日本チアリーディング選手権大会にて、5位という結果を収めた。

今回の結果について副部長の柿本さん(3年)は「我々はJAPAN CUPで7位を取ることを目標にしている。そのため、西日本大会という比較的規模の大きな大会で5位という結果が取れたのは大きいのではないかと話した。

今回は新チームになってか

ら2度目の大会であり、緊張は特に見られなかったという。柿本さんは「今は基礎を固める時期だと思っている。そのため、練習は基礎を多めにしていた。本番で少しミスがあったが、これは練習時間が足りていないのが原因だと感じた。加えて、演技全体をまとめて練習する『通し練習』の回数を増やしておきたい。今回でおおよそ基礎は完成したと思っている。これから難易度の

高い技を多めに練習している」と考えている」と大会の反省を語った。今回は2年生が多めのチームで臨んだというが、まずまずの結果が得られたようだ。

次の九州大会では優勝を目標としていると柿本さんは話す。それに向けて応用技の練習を増やしていくという。また、九州大会ではチームを3年生中心に編成して臨むという。(柴田)



4-4-3のピラミッドを披露(九電ラストショウリハーサルにて)

ロボットコンテスト九州大会 中3女子らアイデア賞

昨年12月1日、2日にかけて鹿児島県で創造アイデアロボットコンテスト九州地区中学生大会(鹿児島大会)が開催された。本校吹奏楽部と応援指導部が参加した。

その結果、中学3年の有志4人で結成された「TEAM HORI」の坪内さん、内藤さん、増田さん、森田さんがアイデア賞という結果を収め、全国大会に出場した。自分たちが技術の授業で米を栽培した様子と、ロボットが自動で精米を行う様子をテレビ番組風にまとめた動画を発表した。

大会を振り返って坪内さんは「アイデア賞が決まったときは素直に嬉しかった。技術の中村先生の手助けのおかげで受賞が決まったので、先生に感謝している」と話した。



九州大会で発表を行う4人

決勝戦では1回に先制点を奪うも、3回に逆転を許すなど、厳しい戦いを強いられた。3対3の同点でむかえた7回表、無死満塁でデッドボールを受けて勝ち越し。さらに、タイムリーヒットで追加点を奪ってそのまま逃げ切り、6対3で糸島農業高校に勝利した。

キャプテンの梶原さん(3年)は「試合でも多く勝つという気持ちで臨んだ。初戦から延長になるなど厳しい試合が多かったが、チーム一丸となって戦い優勝を掴み取れた。現在部員が少ないので、ぜひ1年生に入学してほしい」と話した。(原口)



本校軟式野球部は、3月23日から27日にか

一回戦 梅田さんのサヨナラヒットで藤瀬さんがホームイン

弁論部 県新人大会にて優秀賞受賞

本校弁論部の上安欣語さん(3年)は1月13日に本校で開催された県新人弁論大会において、参加者のうち3名に送られる優秀賞を受賞した。

演題は、「昨年度の本校文化祭における弁論大会でも語った『組分け帽子』の未来」だ。有名フアンタジーであるハリ・ポッターシリーズの作品に登場し、 Hogwarts魔法術学校に入



受賞の思いを語った上安さん

学した生徒に相応な察を判断する「組分け帽子」。この想像上の道具と、現代社会で活躍したときに人間へ指示を出すAIとを対比して、これからの我々と人工知能との向き合い方を示した。

大会を終えて上安さんは「もともと弁論部ではなかった私に、県大会という場を設けて頂いたことはとてもありがたいことだと思つて、自分よりレベルの高い人も多く、貴重な経験となった」と満足そうに話した。(松崎)

D級全国大会優勝、C級太宰府大会3位

本校かるた競技部は2月24日に行われた全国競技かるた熊本大会で、松元大昂さん(2年)がD級の部で優勝を果たし、C級に昇級した。また、1月14日に行われた太宰府かるた競技大会において、白水良和さん(3年)がC級の部で3位に入賞し、B級へ昇級した。

松元さんは「大会が長引いたため喜びよりも疲れを先

に感じた。この大会で昇級する」ともできたので良かった」と大会を振り返った。今後の目標については「次の全国大会は県内でも一握りの高校しか進出することができないので、校内のメンバーに選ばれ、出場したい。そのために、強敵と自分との違いは何かを明確にしたうえで彼らに近づけるような練習をしたい」と述べた。

また、白水さんは「C級に昇級してから1年経った。ずっと昇級したいと思っていたので安心した。しかし、優勝することはできなかった。自身の未熟さを実感した試合でもあった。今後は近江神宮で開催される全国大会に2年連続で出場することを目標として、日々練習に励んでいきたい」と話した。(和田、今村)

新聞部 全国高校新聞コンクール 優秀賞 評価点は華やかな紙面

本校新聞部の発行する「大濠新聞『NEXUS』」が全国高校新聞コンクールで優秀賞を獲得した。この賞は、全国第6席から第15席

に相当するものである。審査委員長で元朝日新聞記者の宮田喜一さんによると、ビジュアルが華やかであることが評価されたそうだ。この結果を受け、同部から松崎彦さん(3年)と新牛込清成さん(2年)が3月8日に朝日新聞社で行われた表彰式に出席した。なお、同コンクールは今年で一旦終了することとなった。(12面参照)

いつも本新聞を最真く下さり、ありがとうございます。お陰様で本新



受賞に笑顔を見せる

チル農堂

〒810-0031
福岡市中央区谷1丁目13-20
CLASSIER SWITCH 103号
TEL 092-406-4379 店休日：不定期

和装小物とおしゃれな和雑貨の店

六本松 時代屋

城南線草香江バス停前 電話 092-771-1763

新しい企業文化づくりのベストパートナーとして

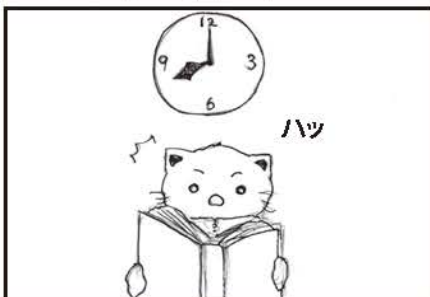
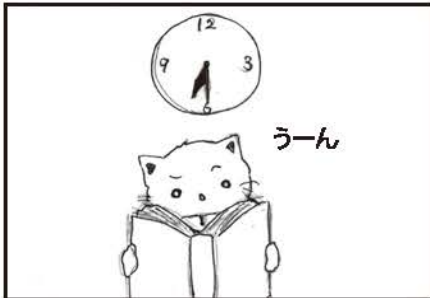
福岡印刷株式会社

代表取締役社長 大隈 信一郎
http://www.inf.co.jp

本社 総務・経理部
〒810-0001 福岡市中央区天神3丁目4番3号 大隈ビル6F
tel.092-751-7592 fax.092-771-1828

東那珂事業所 営業部・生産部・資材部
〒812-0892 福岡市博多区東那珂1丁目10番15号
tel.092-451-0027 fax.092-431-7072

四コマ漫画 by 六方豊密充填 & Yamada Hanako



いざっ! 新聞部に入ろう

～活動紹介～

何をしている?

新聞部は本紙「NEXUS」を年に4回、速報紙「FLASHT」を不定期に発行しています。「NEXUS」は校内・校外問わず、幅広い内容を取り扱うフルカラーの新聞です。毎月16面(今号のみ20面)、3500部を発行しています。企業や公的機関、大濠生や先生など様々な人に取材を行い、多面的かつ公平中立な記事を目指しています。

- 顧問 奥田 副社 先生
常法 進 先生
顧問(国書中学)
坂井 真輔(宮工)
西村 真人(大濠)
森 祐輔(宮工)
和田 理希(飯島野南)
松崎 夢(大濠)
向野 友祐(大濠)
菅野 陸(大濠)
北原 伊織(新大濠大附属小倉)
富永 大智(飯島野南)
大村 祐海(大濠)

- 今村 彰吾(書画)
大倉 唯(松崎)
薬田 純一郎(書画)
新牛込 清成(大濠)
須賀 彰花(二大)
田原 瑞季(百達)
八谷 勇輝(大濠)
原口 誠也(大濠)
松本 龍馬(大濠)
山田 匠海(書画)
上遠野 伶(大濠)



パソコンで記事を作成する

速報紙「FLASHT」は学校行事や部活の躍進などの大きな出来事があったときに発行しています。校内の目立つた場所に掲示してあるので、ぜひ見てください。新聞部では、記事の題材決め、取材、記事書き、校正と、新聞作成の全てを部員が行っています。また、新聞発行に必要な費用を集めるのも我々の仕事です。新聞部は、主に毎週火・金曜日に活動しています。活動日には編集会議を開き、1週間での進捗状況の報告や、記事の方向性の確認・修正をします。何度も会議を行い、意見を集約して改良を重ねることで記事が深まります。

入る理由がある部活

新聞部では様々な技術が身につきます。例えば、編集作業を通じてパソコン、カメラなどでの撮影などの電子機器を扱う技術が向上します。また、取材を通じてコミニ

新聞制作はまず、部員全員が記事にしたいネタを持ち寄るところから始まります。「大濠生を巻き込み、親しみを帯びる新聞を。」をスローガンに記事を決定します。題材決定後は班分けを行い、取材先を探してアポイントメントを取ります。取材先が決定すると、取材に行くまでの間に記事のレイアウトを作成し、取材後すぐに文章を書けるようにします。また、レイアウト作成と並行して記事の方針やどこに何を書くかある程度決めた上で取材を行います。記事を書き終えた後は、校正を行います。校正は語句の間違いや表現の仕方が不適切であるなどの問題点を見つけ、修正する作業で

新聞ができるまで



取材を行う部員

す。全ての記事の校正を終え、印刷会社に入校して発行します。

編集後記

大濠新聞「NEXUS」は今号で200号という節目を迎えました。それを記念して、今号は普段の16面より4面多い20面となっています。▼時代とともに新聞の役割は変化してきました(12面にて、大東文化大学学長らの話を掲載しております)。そんな中、代々大濠生に書き継がれ、読み継がれてきた大濠新聞は「全国高校新聞コンクール」で優秀賞を取ることができました▼私たちは「大濠生を巻き込み、親しみを帯びる新聞を。」をスローガンに精進しています。これからも大濠生に「今」を誠実に伝える大濠新聞であり続けたいと思っております。これからもよろしくお願いたします。(新牛込)

ケーション能力も育めます。さらに、取材を行う上で、普段の生活では扱わない分野にも踏み込み、見聞を広げることもできます。過去にはオープン前の福岡市科学館や、東北、熊本などの被災地にも赴きました。新聞部は活動内容が多く、日々があっという間に過ぎていきます。しかし、多忙な高校生活の中で完成させた新聞を見ると、この上ない達成感を得ることができま

す。新聞部では部員全員が初心者から始めているので、文章力に不安がある人でも心配はありません。部室はスカイチューブを渡つてすぐ右、西館3階にあります。少しでも新聞に興味のある方、活動に参加したい方はぜひ気軽に部室までお越しください。